

01 多様な学びで自分らしさを (子ども)

(ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、松岡はながお届けします。

5

不登校の子ども数は、年々増えています。文部科学省の調査によると、全国の小・中学校で19万人以上。福岡県では全国を上回る増加率となっています。

10

こうした子どもたちの受け皿になっているのが、民間のフリースクールです。福岡市の認定NPO法人「箱崎自由学舎ESPENZA」では、多くの卒業生を送り出してきました。

15

入学時は不安だらけの子どもたち。中には、親から無理に連れて来られ、気が乗らない生徒もいます。そんな場合はゆっくり様子を見て、個性に合った学び方を提案しています。

20

さまざまな状況を抱えていた生徒たちも、それぞれに通信制や単位制、全日制の私立高校へ進学したり、大学や専門学校へ進学したり、そこからさらに就職をしたり、結婚もしたりなど、自分の道を見つけて活躍しています。

ある生徒は、小学生から不登校になり、中学3年のとき「えすぺらんさ」を訪れました。

25 【女子生徒役】最初の頃は、勉強の遅れを取り戻すのがすごく大変でしたが、個別授業で丁寧に教えてもらえたので、あきらめずに頑張れたと思います。自分を丸ごと認めてくれるおとなの大人がいたことで、私は救われました。高校の通信課程を卒業するまで4年間ここで学び、大学に進学しました。働きたいという希望が叶い、現在は福祉関係の仕事をしています。

30 (ナレーター)「えすぺらんさ」代表の小田哲也さんは、高校教師を辞めた後、青年海外協力隊に参加しました。海外の子どもたちを見て、「夢や目標を育てる場づくりの必要性を感じた」と言います。

35 【小田さん役】私たちが大切にしてるのは、相手を全面的に肯定して受け入れることです。不登校の理由は聞かず、「なぜ」より「どうやっていくか」を一緒に考えます。勉強はしつかり教えますが、野外活動や話し合いには口を出さず、子どもたちが主体的に考え、体験から学ぶことを大事にしています。

40 不登校は恥ずかしいことではありません。子どもには誰でも平等に学ぶ権利があります。フリースクールはそれぞれ特徴があり、自分に合った場所を選べます。いろんな選択肢があることを知って希望を持ち、自分らしい人生を歩んでほしいですね。

(本文916字)